

Travel Advises **トラベル・アドバイス**

San Francisco

西海岸を代表する都市、サンフランシスコ。日本からのゲートシティとして、ロスアンジェルスと並んでポピュラーな都市です。人気の観光地だけあって、列車(アームトラック)と長距離バス(グレイハウンド)も発着しており、旅行者はさまざまな方法でこの街へ足を踏み入れます。空港からダウンタウンやその他の郊外へのアクセスを十分に理解し、アメリカで1番美しい街を楽しんで下さい。

サンフランシスコ国際空港

サンフランシスコ国際空港

San Francisco International Airport

ダウンタウンの南役14マイル(22km)のところにあるサンフランシスコ国際空港。34の航空会社が乗り入れ、アメリカでは5番目、世界でも7番目に離着陸の激しい空港とされています。

ターミナルは南(A,C)、国際線(D)、北(E,F)と3つのターミナルから形成され、日本からの直行便は国際線ターミナルに到着します。

入国手続き

サンフランシスコ国際空港は、他の国際空港と違い、荷物をピックアップした後に入国審査の列に並ぶこととなります。その後は税関ですが、申告する荷物が無い人は緑のランプを通過して、税関申告書を係員に渡して下さい。税関をでたあと、乗り継ぎ便のカウンターがあり、そのあとがいよいよ到着ロビーと出口です。そう、Welcome to San Francisco!

Access・交通機関

空港から市内へのアクセス

空港シャトルバン (Airport Shuttle)

目的地の入口まで連れていってくれるサービスが自慢の、Door-toDoorの空港シャトルバン。ホテルが決まっている場合などは、とても便利です。ただ、他の乗客との相乗りなので、行き先やホテルによっては一番最後に降ろされる可能性があり、予想以上に時間がかかることもあります。

路線バス(Sam Trans)

急がず、経済性を求める人におすすめなのが、サムトランスの路線バスです。ダウンタウンのトランスベイ・バスターミナル(Mission & 1st ST)まで運行されています。#7Fは急行で約30分、#7Bは約1時間ほどかかります。ただし、荷物の持ち込みは1つまでしか認められていません。

空港バス(Airport Bus)

ダウンタウンの主要ホテルを回る空港バスが3社運行されています。これらのホテルに宿泊する人は1番便利な乗り物といえますが、時として、満員のため、バスによっては乗れないこともあります。15～30分間隔の運行です。チケットは乗車後、車内にて販売されます。

運行会社と料金	ルート名	運行時間と間隔	ストップするホテル
SFO Airporter 片道 \$ 1 0 (415)495-8404	Union Square Route	6:15-23:45、30分間隔	ANA Hotel, Grand Hyatt, St.Francis, Hilton/Nikko, Parc55, Marriott
	Downtown Route	6:30-24:00、30分間隔	Hyatt Regency, Sheraton Plaza, Holiday Inn, St.Francis, Hilton/Nikko, Marriott
Pacific Airporter 片道 \$ 9、往復 \$ 1 5 (415)282-6088	Route A	7:20-22:50、30分間隔	Pickwick, Savoy, Clarion Bedford, Pan Pacific, Maxwell, Vintage Court, King George, Holiday Inn(Civic Center)
	Route B	7:35-23:05、30分間隔	Californian, Cartwright, Sheehan, Canterbury, Fairmont, Mark Hopkins, Stanford Court, Ritz-Carlton, Holiday Inn(Fin.Dist), Park Hyatt
Wharf Airporter 片道 \$ 1 0、往復 \$ 1 8 (1-800)434-1222		7:10-22:10、30分間隔	Travelodge, Howard Johnson, Holiday Inn, Marriott, Hyatt, Tuscan Inn, Sheraton, Ramada Inn, Travelodge Ghirad.Squ., Comfort Inn by the Bay, Holiday Inn, Golden Gate, Richelieu & Cathedral

Public Safty

観光客が多いだけあって、凶悪犯罪に日本人観光客が遭遇する事はほとんどありません。しかし、スリや置き引きの被害は多発しています。まずは、ここは日本ではないことを再認識しましょう。

空港やホテルのロビー、レンタカー会社などのカウンターでの置き引きには要注意。

スリの出やすい場所ーフィッシャーマンズ・ワーフ、ケーブルカーの車内。

向こうから、日本語で親しげに近よるひとには要注意です。

ツアー（観光）バスでは荷物を置いたまま、バスを出ないようにしてください。

ジャパントウンを少し出たところでは、ひったくりが出没。

地元の人が危ないと注意するのが、テンドーロイン地区 Tenderloin(観光案内所の西側で、Mason St. とシビック・センター Civic Center、Eddy St. と Market St. に挟まれたエリア)、サウス・オブ・マーケットの Market St. の 5th St. より西、ジャパントウンの南側のウエスティン・アディション Western Addition、ゴールデンゲート・パークの東側パンハンドル地区 Panhandle など、要注意です。これらの地区に共通して言えることが、麻薬の取引や売春などがおおっぴらに行われていることです。夜になると銃声も聞こえることもたびたびです。

パウエル・ストリートの南の方には、悪徳ショップが多いので気をつけましょう。買い物の際には、多額の現金を出さず、おつりを確認しましょう。カードの利用の際は金額を必ず確認しましょう。